

夢のようなコーティング 「Cerakote」の 魅力に迫る

セラコート

皆さんおなじみのカスタムパーツメーカーGクラフトがフレームやスイングアームに施すセラコート。塗装？塗料？一体全体なんなのか？ここではそんなセラコートについて紐解いてみましょう!!

PHOTO&TEXT : MOTO MOTO

■セラコートジャパン

Facebook : <https://www.facebook.com/cerakotejapan?fref=ts>
全国各地に施工所を用意。Facebook内にて紹介中

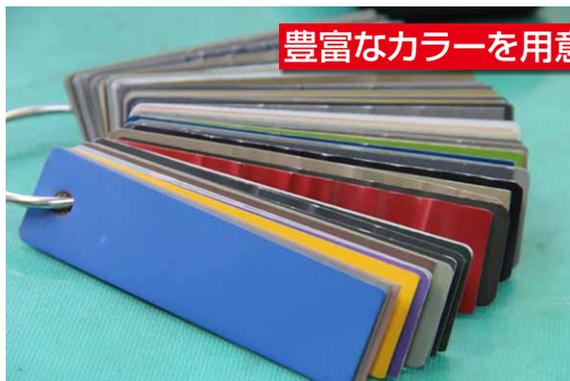
セラコートとは？

超簡単に言うセラコートとは驚くほど高い耐久性を誇るコーティング材。84年にアメリカで重機用に開発された物で、防錆、防食、耐衝撃、耐摩耗、柔軟、耐熱、耐溶剤、耐薬品、そして文頭で書いたように超が付くほど高い密着性を発揮する夢のようなコーティング材。各性能は度重なるテストと、研究を繰り返して実証され、日本だけでなく世界の様々な分野で使用されています



Gクラフトではブラックが使用されるが、実際は100を超えるカラーバリエーションを用意。カラーによって焼き付け、常温乾燥タイプがあり、用途に合わせて使用出来るようになっている

豊富なカラーを用意



こちらはアルミの板にセラコートを施したものの。「試しに思いっきり折ってみてください!!」と言われ折り曲げ、また戻したりと編集部が力づくで試しましたがホントに、ホントに剥がれませんでした

驚きの密着力

こんな事にも使えます!!

フレームやスイングアームだけではなく、写真のようにピストンをはじめ、ミッション、ネジなどバイク1台を丸々セラコートだって可能。あらゆる特性を持つセラコートだからこそなせる業なのです



様々な効果を生揮するセラコートですが、その中でも注目したいのが驚きの密着性能。今回で紹介している以外にもセラコートを施した板をトンカチで何度も叩いたり、金タワシですすったり、溶剤をかけたとしてもまったく剥がれないという高い密着性と、驚きの柔軟性を発揮してくれるのです。

実際どんな所に使用できるのかというと、Gクラフトが現在行っているフレームやスイングアームから、エンジン内部のパーツにも施行可能。耐熱性にも優れるので、ピストントップに施行した場合熱から守り、カーボンの付着も防いでくれます。スカート部には潤滑性能が優れる顔料を使用しコーティングすることで摺動性もUP。他にもバルブや、ミッションだって施行可能なんです。基本的には焼き付けタイプなのですが、常温乾燥タイプもあるので、FRPの外装だってOKですよ。いっそ丸々一台セラコートしちゃう、なんてのもおもしろいかも？

これまでにない何にでもかけられる夢のようなコーティング「セラコート」。是非一度お試しください!!

Gクラフトがアルミフレームに施したことで4ミニ業界をにぎわすセラコート。その名前は聞いたことはあるが一体全体なんなんだろう？という疑問をセラコートジャパンさんにお聞きしてみました。

次世代のコーティング
それがセラコート